八夕日刊
磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯發行人　岡田弘盛
印刷人　福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所　加納活版所
發行所　福島縣石城郡平町紺屋町十五　磐城時報社
一部金貳錢一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

佐藤幹事長の奔走で 縣が調停の勞をとる
大瀧問題解決の曙光
佐藤氏の妥協案

大瀧發電所問題が紛糾するに至つてから既に四年、今回平町の提出した行政訴訟は遂に平町が敗訴したゝめ人心は更に動搖し紛糾も亦漸やく激しさを加ね四年前の狀態に立ち戾つた觀があり、去る六日の平町會の如きも政黨或は感情方面から衝突で曾てない混亂の狀態を呈し警官まで出動警戒した等前途頗る憂慮さるゝ有樣であるが、町民多數は同問題が一日も早く解決する事を希望してゐるらしい空氣を見て取つた平町出身の本縣政友會幹事長佐藤庄太郎氏は去る六日午後縣廳に半井內務部長を問ひ

平町の重大問題である大瀧發電所事件を一刻も早く解決せしめたいが、私は平町並に會社側が双方共大体承認するであらうと信ずる妥協案を持つてゐるからこの案を基礎として調停の勞を執られたい。

と述べ

◎妥協案

現在平町が取水してゐる一箇三分を二箇若くは三箇に增量しこの分水に對し平町に優先權を與へる事並にこの設備及び費用は全部會社負擔の事

を提示した處、半井內務部長は

縣廳でも解決を希望してゐるからこの案を調査の上調停の勞をとる事にする。

と答ふる處があつたが、平町として空前絕後とも見らるゝ大瀧發電所事件も佐藤幹事長の調停案により漸やく解決の曙光が發見されたと見らるゝであらう、之について佐藤庄太郎氏は語る

「目下平町で騷いでゐるのは一部町民で多數は解決を希望してゐる。私の案は平町でも會社でも承認し得ると信じてゐる。云々」

▲苗代品評會　上遠野、入遠野兩村聯合苗代品評會は六日、七日兩日擧行したが出品二百四十九点、郡農會大山技手等審査の結果入賞者として一等二点、二等十二点、三等十六点、四等五十七点を決定し近く上遠野小學校で賞品授與式を行ふ筈である。

大瀧問題に關して 町民大會の決議
「發電所と協調」が眼目
集合者平劇場に溢る

平町民有志主催にかゝる大瀧發電所問題の平町民大會は七日午後五時から平劇場に開いたが集合者千五百名、流石の大劇場も滿場立錐の余地なく多數警官が物々しい警戒裡に先づ猪狩千勝、柴田德二、吉田五平、野崎滿藏其他數氏の演說あり後鈴木昌雄氏座長となり町民大會に移り猪狩氏左の決議文を朗讀し之を決議し實行委員數名を選定した後更に演說會に移り午後九時散會したが同日の來集者の顏觸れは平町各方面の人士を網羅してゐたが會場の空氣より察するに多數町民は一日も早く同問題が解決する事を希望して止まぬが如き模樣であつた。

決議文

一、平町長伏見彥衛君は行政訴訟敗訴の責任を負ふて速かに引責辭職すべし。

一、平町の利益を無視して協調に反對したる町會議員中水利委員諸君は即時自決すべし。

一、平町は速かに水道所用の水量を好間川本流より取水すべく國家に對し手續を履行し水利權を獲得すべし。

一、平町は水道問題の合理的解決をなすべく發電所と協調し以て鞏固たる權利を獲得し平水道を萬代不易の基礎の上に確立せしむべし。

右決議す

▲八日會例會　平町田町青年團を主體とする八日會第一回例會は八日午後七時から平町藤田女學校に開き磐中配屬將校長島勤氏、平商業學校長吉田利吉氏の講演があり一般聽講者を希望すると。

遂に會社が折れて 來月から待遇改善
王城炭礦爭議解決條件

王城炭礦爭議は去月十二日から火蓋を切られ二十五日目六月四日漸く解決を見たが、調停者は橫山植田署長、藤堂調停官補の兩氏で會社に於て承認した左記事項について會社は七月一日から實施すること、解雇者に對しては五十圓の手當を給與する事との覺書を交した。

解決要求事項

▲作業改善の件▲稼賃金は本番日給一割値上すること▲安全燈料は稼人に於て二錢を負擔すること▲受負事業の炭價と間代は即時發表すること▲係員は坑夫入坑前必ず瓦斯觀測を怠らざること▲係員は稼人を虐待し不公平の處置をさらざること▲長屋の改善▲衛生設備の改善▲火元豫防に付き新坑舊坑に各一臺づゝ消火器を設備すること▲病傷者の入院室を設くること▲健康保險の手當は一時會社に於て立替支給すること▲用度部に日用品煙草等を切らさず白米を改善すること▲組合員なるが故に絕對馘首せざること

▲三縣庭球大會　三縣聯合庭球大會は來る十二日開催

繭仲買業者が 四倉市場に惡宣傳
組合で注意の印刷物配布

有限責任石城郡販賣利用組合の公設四ツ倉繭市場は愈々十六日から開始されることゝなつたが市場開設により打擊を蒙る不正仲買商等の中には之れに向つて各種の惡宣傳を試み市場利用者を少からしめんとするが如き手段を講じ健全なる發展を阻止する樣な實例があるので同組合では左の如き奬勵方法を設け印刷物として各町村長及び蠶業組合等に配布した。

一、營業者の爲に昨年は陸前黄金山神社に祈禱して出荷組合員には（みのなる金）の尊き財布を進呈したり。

二、本年は蠶の守神縣社子鍬倉（稻荷）神社に於て大豐万作の御祈禱をなしたり。

三、優良繭を出荷して最も高價に販賣したる當業者には優賞旗を授與して精勵を賞する事としたり。

四、出荷者には組合市場を表示したる景品を贈呈する事としたり。

鐵道への出張理髮
組合で問題となる

內鄕村の磐城炭礦及坑夫組合では從業者の爲に理髮指定人を設け普通理髮者より十錢安の理髮券を發行して調髮させてゐる爲指定員以外の組合員から平署に向つて、之れ等は組合規定を無視するものであるから其取締方を願ひ度いと陳情に及んだ事既報の如くであるが、理髮業者某も平驛及同機關庫の從業者に刈込二十錢で出張調髮、應じ然も何等組合側の承認を得ざるにも拘らず鐵道側に向つて組合側の承認を求めてゐるのであるから規定料金を無視し調髮してゐると言ふので組合員側では之れを徹底的に糺彈せんと敦圉いてゐるものもあるが其理由に就て某當業者は語る「組合規定を無視して料金の割引をせねばならぬと言ふ場合其營業者が同業者の何れからも同情され得る程度に經營上若しくは營業所の位置上に大なる缺陷があつて妻子を養つて行く事が出來ぬと言ふ樣な者に對しては或は同業者もこれを默認せねばならぬかも知れないが、今問題とされてゐる同業者の如きは管內に於ても一等地と目される位置に營業をなすと共に設備等も一流の堂々たる營業所にて剩さへ曩に割引をなす同業者の現はれたる際など急先鋒となつて之れを撤回させんとの意見を持したもので此儘に推移せば悲慘に陷る同業者を出すは必然にて組合員の安定を計らんとする目的の爲に本意ではないが此際之を撤回させねばならぬと思つてゐる、又鐵道側に向つて其指定を許可されんが爲に組合側の承認を經てあるから云々の事に就ても之れは未だ判明してゐないから判明の上でないと方法もないが組合員が其樣な事を承認した事もなく飽迄も其曲直を糺す積りである」と。

石城郡內の 所得稅額

平稅務署の昭和二年度中に徵稅すべき第三種所得乙種資本利子稅は總額三百八萬八千圓にして其種別稅額は左の通りであるが控除額は保險の四萬八千百九十六圓、老幼扶養の十一萬八十三圓等である。（單位圓）

▲貸地貸家所得二二五五、四三六 ▲田地所得五〇二、六八九 ▲畑地所得四三、七五三 ▲原野所得一、一五三 ▲鑛山所得二、〇〇〇 ▲俸給給料所得三九〇、一四九 ▲賞與所得一二一、七四五 ▲諸給賞所得九九、一二五 ▲庶業所得一二〇、二一四 ▲勞力所得一、二九六 ▲產馬養蠶所得五七、〇九〇 ▲工商業所得八五一、四二四 ▲非營業所得一六七、六一三 ▲非營業者貸金利子六四、二六二 ▲配當所得二三三、三〇四 ▲其他一〇〇、四一五 ▲山林八三、四四五

驚いた!!!
こうまで安いとは
―加納活版所の印刷物!!

小名濱海岸を別莊地にする

平小鐵道或は商港などの國家的施設と水産工業、捕鯨根據地乃至大敷網などの個人的企業等の爲め近來著しく開發の途上にある石城郡小名濱町では近來測候所附近その他官有地の拂下を受け別莊を建築すべくその筋に出願するもの少からず既に決定の分二三にして止まらざるに加へ當局に於て目下雜種財産として編入すべく調査中のもの若干面積あり之等は夫々希望によつて拂下の方針であると云ふから茲數年の後にはこの邊一帶の別莊地化は蓋し既定の事實と觀られてゐる。

正確な時間を鐘堂で報ず

六日から一週間

來る十日は時の紀念日に當つてゐるが、平町舊城跡の鐘堂では每日平郵便局から中央天文臺の正確な時間を報じて之を鐘報してゐるが、特に六日から十二日迄の一週間中央天文臺よりのタイムにより最も正確なる時間を舊城跡鐘撞堂に通報し同所は之により鐘報することゝなりたるに付之が最初の第一鐘が即ち中央天文臺の正十二時と符合するものなりと。

よくも飲んだ三百五十石

郡內のラムネ

石城郡內に於けるサイダー、ラムネ等淸涼飲料水の製造業者は目下の處僅々四軒に過ぎずサイダーの如きは常に優良品を生産しつゝあるに拘らず他方面からの移入品、其販路を妨げられ未だ數字を以て稱する程度の生産を爲して居らぬがラムネに至つてはその重量の關係による運搬の難易から殆んど完全に他からの移入を驅逐し昨年度（自十正十五年三月一日至昭和二年二月二十八日）一ヶ年の生産高は實に五十萬本の多數に上り而も逐年增加の傾向にあること、因にラムネは一本の容量を七勺平均とし五十萬本の分量は實に三百五十石の多數に上る勘定である。

東京株式淸算取引高低表

（東株ハ當中先限、他株ハ先限ノミ）

◎第一部

	寄付	止
東株（當）	一四八〇	一四八八
（中）	一四八五	一四九二
（先）	一四九九	一五〇一
同新（當）	一三七九	一三七五
（中）	一三八〇	一三七七
（先）	一三八八	一三八七

郵船	—
同新	二八〇
富紡	四一〇
同新	二〇九
鐘紡	二三七五
同新	一二四〇
日糖	—
同新	—
二新	三八六
盬糖	五〇九
同新	—
新高	—
同新	—
濱取	四一五

◎第二部

麥酒	二〇三〇
同新	一三七八
麥鑛	五八〇
熱帶	四三[illegible]

◎第三部

白煉	—
日セ	三二一
淺野	七三一
同新	三五九
磐セ	五八八
久原	五三三
同新	一八〇
日石	五七二
自動	三四四
同新	—
富紙	七七二
同新	二九一
樺太	五四四
日魯	一〇八二
同新	九四七
日粉	九二四

短期前場

	寄付	高値	安値	引値
塩水	五二一	五二一	五〇一	五〇一
久原	五五八	五五八	五五一	五五一
新淺	三六三	三六四	三五九	三六二
日石	五六八	五六八	五六二	五六五
新鐘	一三五三	一三五三	一三三一	一三三五
新東	一三七〇	一三七三	一三六一	一三六三

東京商品取引

（六月八日前場）

◎期米

	六限	七限	八限
一節	三六九四	三七一三	三七二八
二節	三七〇三	三七一六	三七三一
三節	三七〇七	三七四八	三七四一
四節	三七〇八	三七二九	三七三五
五節	三七〇八	三七二四	三七三四
六節	三七〇三	三七二一	三七三三
七節	三七〇三	三七二二	三七二五
八節	三七〇三	三七二三	三七二一

◎綿糸

	一節	二節	三節	四節
六限	三〇五	三〇五	二九〇	二九六
七限	三五〇	三五三	三四三	三四一
八限	三六五	三六五	三五五	三五一
九限	三七二	三七八	三七〇	三六四
十限	三八七	三八六	三八〇	三七四
十一限	三〇〇	三九八	三八一	三八一
十二限	三九九	三九三	三八三	三八一

◎生糸

	一節		二節	
六限	一四七〇	一四七〇	一四六九	一四六八
七限	一四八九	一四八九	一四八九	一四八七
八限	一四八二	一四八一	一四八〇	一四七七
九限	—	一四八六	一四八五	一四八二
十限	一四八九	一四八六	一四八一	一四八〇

▼川柳

落付いた朝寢をさせる雨の音　福島　本多素穗
出帆の汽笛に涙又もわき
轉任の辭令手にして落付かず　磐城　あきら
ホロ蚊帳をかけて母親ソツトぬけ　織內世海
花の頃心の駒も狂ひ出し　同　人
峠茶屋風先へ來て肌をぬぎ　岐阜　古狂
海岸の二八巡査に氣をもませ　同　人

勇往直進豪毅堂々
三大映畫提供
説明）石井、佐藤、谷、小林、南
伴奏）石川、津田、王江、安部、佐藤

番外喜劇　千金の夢　全二巻

弘道館四段特別角力選手　淺岡信夫猛演
學生角力大活劇　勝利の前に　全六巻
渕田嘉子、辻峰子助演

河部五郎主演、大佛次郎原作
第二回　照る日曇る日　八巻
大河內傳次郎、櫻木梅子、川上彌生、澤村春子助演

水產講習所出身スポーツ　廣瀨恒美主演
海洋大活劇　海國男兒　全八巻
砂田駒子、高木永二助演

六月九日ヨリ　平館

新館陳列　六月一日より
◆昭和式中形
◆昭和式手拭中形
◆名古屋しぼり
是非御覧を願ひます
三井呉服店　平町三丁目　電話三八番
◆夏物豊富取揃へ申候

外科一般、婦人科
耳鼻咽喉科
慈惠醫學士　新妻由五郎
日本醫學士　高橋貢
赤心堂病院　田町　電話四七五

イワキ食堂

園藝用諸肥料各種
凡ての植物の發育を助け枝葉を繁茂せしめ花輪結實を大ならしむる
補助肥料　促肥素　壹瓶（三合入）定價一十五錢
平町四丁目角（電話百五十七番）
菅野屋肥料店

惡性ノ皮膚病ト
花柳病ノ豫防ニハ
セイビ
一個　五十錢　三十錢
特約店　磐城平町　關內藥局　電四〇番

階上食堂
同伴席の設備あり
美味で評判の　イワキ食堂
平町縣社通り
電話四六〇番

金牌受領
優秀品の證明
印半天專門
草野染工場
磐城平町
電話三四八番
◎徒弟入用（徒弟契約に付ては年明きに際し有利に御相談申上候）

生殖機能衰弱を歎く人、旺盛を欲する人に
エキスピン　定價（金五圓、十圓　廿圓）
▼何ともいはれぬ人間味!!
◆ごうも頭がボンヤリする方◆老衰を恐怖する方◆夜良く寢むれぬ方◆精力減退の方
發賣元　東京芝區宇田川　東京ラヂオレーヤー株式會社藥品部
一手販賣元　宇佐美藥舖　平町田町【電話五五一番】
六月十五日迄宣傳ノ爲原價提供三割引

婦人病血の道の妙藥
美味にして強壯の効著大
血をふやし肉を肥やす

定價壹圓・貳圓・德用五圓
代理店　山野邊藥局　平町五丁目角

電話新設　百三十五番
平町三丁目
永木箪笥店
店主　永木八五郎